

Nursing in TOKYO



檜原村人里地区バス停留所(東京都西多摩郡檜原村人里)

会報 看護
とうきょう

2025. March

Vol.140

令和7年度 事業運営方針

特集 看護補助者との協働
—タスクシフトを進めるために—

保助看 私たちの働き方・私たちの輝き方



公益社団法人
東京都看護協会
TOKYO NURSING ASSOCIATION





会長 柳橋 礼子
公益社団法人東京都看護協会

会員の皆様には日頃より東京都看護協会の活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。昨年、令和6年1月に発生した能登半島地震では多くの看護職が支援活動を行いました。皆様のご尽力に敬意を表しますとともに、被災地の復興をお祈り申し上げます。

会員の皆様のご尽力で活動してきました災害支援ナースは、令和6年4月に改正医療法に基づく「災害・感染症医療業務従事者」として登録・派遣されるという国の仕組みになりました。令和7年度は災害支援ナースの仕組みをさらに発展させ、首都直下型地震などの有事にも備えるため東京都との連携強化を進めていく予定でございます。

また、令和7年度も医療機関と地域社会の連携による継続的な看護サービス提供を目指した看護職のネットワークづくりと課題解決に引続き取り組んでまいります。そして看護職の皆様ご自身が希望する領域で活躍できますように、継続的な生涯学習プログラムの提供に努めていきます。

これからも会員の皆様の情報交換や交流の場を目指して事業を進めてまいりますので、ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年度事業運営方針 — 一定款に基づく4本柱 —

1. 社会・地域の看護ニーズへの対応のための看護提供体制の強化

① 看護サービスの継続的な提供を目的とした連携への支援

- ・ 地域における看護職ネットワークの連携強化を目指した交流の場の活性化
(地区支部活動・委員会活動・連絡会等の創設)

② 看護機能の強化に向けた事業実施と政策的アプローチの推進

- ・ 課題解決に向けた改善活動やDXを活用した好事例の共有と看護管理者への支援
- ・ 改善事例の成果を活用した政策提言

③ 健康危機発生時に備えた準備への支援

- ・ 法制化された災害支援ナースの育成支援
- ・ 災害拠点病院の看護職を中心としたネットワークの推進
- ・ 自然災害および感染症危機管理に備えるための施設の体制構築と人材育成

2. 看護職の生涯学習支援と看護の質向上

① 専門職としてのキャリア形成と看護職のニーズを反映した生涯学習支援体制の構築

- ・ 生涯学習ガイドラインの具現化のための継続的な学習プログラムの提供
- ・ 施設で提供する学習プログラムと教育担当者への支援

② 看護職のウェルビーイングの向上と看護の質向上を目指した交流の場の提供

- ・ 看護管理上の課題共有を目的とした交流への支援

3. 看護人材の確保と定着促進

① 看護職の処遇改善と働きやすい職場環境改善への支援

- ・ 看護職の職業人生の再考とプラチナナースが活躍できるための就業環境の整備(プラザ事業)

② 潜在看護職の就労促進

- ・ 人材確保対策のための情報発信と就業支援(プラザ事業)

③ 看護補助者の活用と

多職種とのタスクシフト・タスクシェアに向けた支援

4. 組織の強化

① 職能団体としての組織強化

- ・ 会員ニーズを最優先とする事業展開
- ・ 会員や賛助会員の満足度向上による相互事業の推進
- ・ 城北看護ステーションにおける公益事業の拡大と機能強化

② 未来の看護職に向けた活動

- ・ 地域・学生・若者層に向けた看護職の魅力発信

看護補助者との協働 —タスクシフトを進めるために—

医療ニーズの増加と労働人口の減少により、看護師が医療現場で専門性を発揮するためには、看護補助者との協働が重要です。一方、賃金の低さや入職後の業務内容のギャップによる離職などで、看護補助者の雇用や定着に悩む医療機関は多いでしょう。2024年3月からは外国人看護補助者の採用も開始し、看護師と看護補助者の協働に積極的に取り組む東京都済生会中央病院。看護補助者について、「統括する人」「現場を束ねて教育する人」「働く人」にインタビューしました。



採用から定着に向けての具体的な取り組み

協会Web特設サイトにインタビューの全文を掲載！
二次元コードからぜひご一読ください



<https://kaiin-tokuten.tna.or.jp/tokushu202503/>

診療報酬の改定が 看護補助者の採用を後押し

東京都済生会中央病院看護部長
土方ふじ子さん



統括する人

当院では、看護助手（以下、看護補助者）・クラーク・介護員を合わせて「ナースングアシスタント（NA）」と呼んでいます。看護補助者数は49名で、そのうち外国人の看護補助者は10名です。

診療報酬の「看護補助体制充実加算」の新設や改定によって、看護補助者の確保や定着の重要性に関して、病院経営層

の理解が深まりました。病院の協力が得やすくなったことで、外国人看護補助者の採用も進んでいます。

現場での看護補助者の活躍や、患者さんに与えるよい影響を病院の経営層や他院の看護職に伝えることも私の役割だと思うので、今後も積極的に行っていきたいです。—詳細はWebで—

教育や業務改善は 看護補助者が主体的に

副看護部長
廣野敏枝さん

ナースングアシスタント係長
中園芳美さん



現場を束ねて教育する人

当院のNAチームは、看護部と協力しながら教育・研修・業務改善などに主体的に取り組んでいる特徴があります。

患者さんに触れるケアを行っていない看護補助者にとって、いきなり清拭やオムツ交換などの担当は、不安感が強いものです。まずは、看護師と一緒に介助に入って、準備や片付けをしてもらうところから始めています。「看護師と一緒に」がキーワードですね。

また、新人の看護補助者にとって働きやすい職場にするために、定期的なフォロー面談を行っています。面談の情報は

NAの役職者間で共有し、病棟でも声をかけたりサポートしたりして見守ることが大切です。対応が必要なことは、すぐ副看護部長や病棟の看護部長に相談して早期解決することで、看護補助者に「一緒にやっている」という安心感をもってもらえるようにしています。綿密なサポートによって、看護補助者の離職が予防できていると感じています。

これまで、看護補助者の業務は検査の搬送や清掃などが中心になっていましたが、次は患者さんのケアと一緒に入れるように推進したいです。—詳細はWebで—

看護師と一緒に 患者さんのケアをしていきたい

ナースングアシスタント副主任
横山茜さん



働く人

看護補助者として、病棟で患者さんの検査搬送、食事配膳、病室の清掃などを担当しています。現在は、それらの業務に追われていて清拭や食事介助などのケアは行えていません。

看護師との連携を円滑にするためには、業務に関してわからないことがあったら、

自分から積極的に声をかけることが大切です。

今後は、私も患者さんのケアができるようにスキルアップして、看護師と一緒にやっていきたいと思います。

—詳細はWebで—



墨田区・江東区・荒川区・
足立区・葛飾区・江戸川区



東部地区理事
植山誠一(亀有病院)



研修風景



まちの保健室「口腔フレイル予防・口腔体操」

施設、職種、地域を 「つなぐ」活動を目指して

東京23区の中でも高齢化率の高い東部地区では、就業する看護職に高齢社会への対応力が求められています。活動の柱は「看護の質向上」と「地域住民の健康啓発・予防活動」です。

看護の質向上活動の1つは、年4回開催している地区支部研修で、明日から臨床で使えることを目指しています。現場で活躍する認定看護師を講師にお招きし、オンラインと集合研修を効果的に使い分けています。もう1つは、年1回開催の看護研究実践報告会です。多職種による発表を行い、施設や職種を越えてケア実践を共有する貴重な機会になっています。

地域住民の健康啓発・予防活動としては、健康増進や疾病予防を身近に感じてもらえるように「まちの保健室」を開催しています。予防への関わりは看護職の役割を再確認する機会になっています。

地区支部だより

地区支部研修で知識を深め 看護力を高めましょう!

ナイチンゲールは、自分の仕事に「理性的な関心」「倫理的な関心」「技術的な関心」という3つの関心をもたなければならないといい、「看護師は常に正確に観察する能力を身につけない限り、どんなに献身的であっても看護師として役に立たない」ともいっています。

西部地区では看護実践の上で必要となる「理性的な関心(十分な知識)」と「正確に観察する力」をサポートするため、毎年地区支部研修としてフィジカルアセスメント研修をシリーズで開催しています。講師の山内豊明先生は毎回非常にわかりやすく、かつすぐに活用できる知識と技術を教授してくださり、研修生の満足度も非常に高い内容です。今後超高齢化が進む中、看護職としてのさらなる力を発揮して地域包括ケアの推進者として進むためにも、ぜひ地区支部研修にご参加ください。



西部地区理事
大沼扶久子(東京警察病院)



区西部(新宿区・中野区・杉並区)・
区西北部(豊島区・北区・
板橋区・練馬区)



フィジカルアセスメント研修風景



山内豊明先生



品川区・目黒区・大田区・
世田谷区・渋谷区



南部地区理事
中川美和(東京共済病院)



まちの保健室「手洗い教室」



まちの保健室「包帯法」

未来につながる看護の力

南部地区は都内5区からなり、役員・委員22名が協力し合い、地区支部運営に携わっています。地域ニーズを捉え、より地域に密着した活動をご紹介します。

1つは、気軽に健康について相談できる場所として「まちの保健室」と称し、学童クラブの児童とその職員の方々を対象に開催している出前出張講座(「手洗い教室」「包帯法」)です。専門的な知識をもった看護職が地域の集会場に伺い、健康チェック・健康相談などを実施して、都民の皆様の健やかな暮らしを支援しています。

もう1つは、看護職の資質の向上に向けた研修会の企画・運営です。循環器看護の基礎的知識として、心電図、高齢者の意思決定支援、ACPにおける看護師の役割など、看護実践に役立ててもらっています。



千代田区・中央区・港区・
文京区・台東区・島しょ部



中部地区理事
木村ひづる (三楽病院)



まちの保健室「血圧測定の様子」



飯田橋ラムラ
(新宿区)

2040年を見越した 新たな地区支部活動に向けて

中部地区は、22施設から集まった役員・委員が協力して活動しています。主な活動内容は、地域の看護の質の向上に向けて、看護に関する「研修会」の開催や「まちの保健室」を実施し、地域の皆様の健康づくりに貢献することです。

人生100年時代を迎え、これからは全世代型地域包括ケアの推進のために、医療機関と地域の看護職は互いに垣根を越えてつながり、地域の方々が安心してその人らしく暮らせる社会の実現に向けて、さまざまな課題に取り組むことが重要です。中部地区の地域包括ケア委員会では、看護部長がつながり、地域での退院支援看護師を育成する取り組みも行いました。

2040年を見越してさらに役員・委員の連携を強化し、地域に目を向けて活動に取り組むことで、地域包括ケアに貢献していきたいと考えます。

各地区支部の活動報告詳細は協会Webサイトで
<https://www.tna.or.jp/kyokai/branch/>



「人生100年時代」 これからの地区支部活動

多摩北地区支部は西多摩・北多摩・北多摩北部と3つの二次保健医療圏があり、山々に囲まれ、自然豊かな地域です。また、大学病院はないものの、急性期医療から回復期・慢性期医療、精神科医療、在宅医療に偏りが無いという特徴があります。

「人生100年時代」といわれる中、看護職は生涯学習を行い、看護職として働き続けることが求められます。人々が住み慣れた場所で暮らし続けるためには、人生の終焉を適切に捉え、入院・外来医療から在宅医療の各場面で看護職が連携することが必要です。このため、地域で活躍する専門・認定看護師を講師に迎え、具体的で実践に活かせる内容の研修を企画していきます。

また、人々の健康意識を高め、健康促進に寄与できるよう「まちの保健室」活動を行います。健康寿命を延ばすために、来場者の疾病予防や健康づくり推進を継続していきます。



多摩北地区理事
伊東恵美子
(立川中央病院)



立川市・青梅市・昭島市・小平市・東村山市・
国分寺市・国立市・福生市・東大和市・清瀬市・
東久留米市・武蔵村山市・羽村市・あきる野市・
西東京市・瑞穂町・日の出町・檜原村・奥多摩町



認定看護師による研修風景



まちの保健室「握力測定」



八王子市・武蔵野市・三鷹市・
府中市・調布市・町田市・
小金井市・日野市・狛江市・
多摩市・稲城市



多摩南地区理事
池亀俊美 (榎原記念病院)



多摩南地区地域包括ケア委員会主催
医療・介護職向け研修開催風景

地域とつながり、 ACPの普及に努める

多摩南地区では、ACPの普及活動を行っております。今年度は大きく2つの活動を行いました。

1つは、「まちの保健室」(年4回開催)で、看護職がACPについて、「わたしの思い手帳」を活用しながら、利用者の方と対話する時間を設けたことです。エンディングノートとACPの違い、ACPの入口である「自分自身が大切にしていること」を言葉にしてもらい、その場にいる方と共有します。実際に「母のACPについて書いたものの、現実には点滴につながれていた。自分のときはどうなるのか不安」という声もいただきました。

もう1つは、多摩南地区地域包括ケア委員会主催の医療・介護職向けの研修です。訪問診療も実践されている西田伸一先生を講師にお招きし、意見交換の場も設けました。次年度も引き続き地域の方々とながら、このACPの普及に努めていきたいと思ひます。

「病院では見えなかった地域住民の暮らしを知りたい」。そんな思いから、5年間の病棟勤務を経て、地域包括支援センター（以下、包括）への転職を決意しました。保健師として、高齢者やご家族からの健康や介護の相談対応、認知症カフェの運営など、医療と生活支援の両面から住民の健康づくりを支援しています。包括で働き始めて、「看護の専門性を活かしながら、地域住民の暮らしに寄り添える」というやりがいに出会えました。包括は介護や福祉の知識も身につく、成長できる場所なので、思いきってチャレンジしてみると視野やキャリアの幅が広がるかもしれません。—詳細はWebで—

看護の専門性を活かして 地域の頼れる相談窓口に



前列左が末永さん

保健師

足立区地域包括支援センター
はなはた
すえながちひろ
末永千紘さん

保 助 看

私たちの働き方・ 私たちの輝き方

—まだまだある、看護の楽しみ!—



<https://kaiin-tokuten.tna.or.jp/hojyokan202503/>



フルバージョンは
こちら!

助産師

成城木下病院
あきやまかえ
秋山佳重さん



毎日の学びで気づいた「伸びしろ」
自分の成長を感じる瞬間に
ワクワクしています

新しい職場ではベテランの先輩方に囲まれ、「自分にもまだまだ伸びしろがあるんだ」という発見と、日々できることが増えていく楽しみがある毎日で、新人時代に戻ったような気持ちで頑張っています。助産師としての幅広い視野や裁量が求められる環境なので、自分のスキル不足に落ち込むこともありますが、忘れていた向上心や自分の成長を感じられ、とても充実しています。ここに来て再発見できたのは、自分は現場が好きだということ。1人でも多くのお母さんと赤ちゃんのよい思い出となるような瞬間をお手伝いできるよう、今後も広い視野をもった助産師として現場に関わり続けたいです。—詳細はWebで—

日々試行錯誤しながら改善し続ける訪問看護は、知れば知るほど奥が深い魅力的な仕事です。「人」と「人」としてじっくり向き合う看護がしたかった私には、ピッタリだと感じています。訪問看護の世界に飛び込んで4年目ですが、自分のケアで利用者さんの生活がよりよい方向に変わっていく様子に触れられる日々は、楽しさと同時に厳しさも感じます。また、利用者さんごとに異なる環境で提供するケアは病棟看護とはまったく違い、常に自分の看護観が試されている感じがし、学ぶこともたくさんあります。今後も季節の変化を感じながら訪問を楽しみ、在宅医療に関わり続けたいと思います。—詳細はWebで—

奥が深い訪問看護
今後も在宅医療に関わりたい



前列左が家山さん

看護師

JCHO東京新宿メディカルセンター
附属訪問看護ステーション
いையまかなこ
家山加奈子さん



東京都ナースプラザは、生涯にわたり看護職として働けるようサポートします

東京都ナースプラザで開催するイベント情報を

SNSでお知らせ!

全ての事業は
無料です

看護のお仕事応援フェアなどイベントのご案内



各種研修のご案内



公式SNSを気軽に
フォローしてください!



Instagram



facebook



セミナー等のご案内



就職説明会のご案内



東京都ナースプラザ

東京都ナースプラザは、東京都から受託し、『看護師等の人材確保の促進に関する法律』に基づき、看護職員の確保(就業・定着促進)に関する各種事業を行っています。

設置主体 | 東京都

運営受託者 | 公益社団法人 東京都看護協会



<https://www.np-tokyo.jp>

東京都ナースプラザ

検索

令和6年 秋の叙勲

受章おめでとうございます

敬称略

瑞宝双光章	こさか ちえこ 小坂 智恵子	元東京都立多摩総合医療センター 看護部長
瑞宝単光章	のがみ じゅんこ 野上 順子	元東京大学医学部附属病院 看護部看護師長
瑞宝単光章	むねかた まり 宗方 麻理	元(独)国立病院機構宇都宮病院看護部長
瑞宝単光章	えんどう のりこ 遠藤 紀子	元2等陸佐

東京都看護協会
モバイルアプリのご案内
Android・iPhone・iPad

無料

看護協会主催研修をスマホでチェック!
すぐに申込可能! 是非お試しください!

今すぐダウンロード→

<https://www.tna.or.jp/nurse/education/apps/>



研修一覧画面



公益社団法人東京都看護協会 役員等の選挙について

令和7(2025)年6月19日(木)に開催される「令和7(2025)年度通常総会」の終結をもって
任期満了となる役員及び推薦委員について、下記により選挙を実施いたしますのでお知らせいたします。

選挙期日 令和7(2025)年6月19日(木)

場所 公益社団法人東京都看護協会会館 1階大研修室1A・1B

立候補受付について

役員等に立候補する会員は、他の5名以上の会員の推薦を受けて、
所定の様式(立候補届出書・立候補者推薦届)に必要事項を記入の上、
令和7(2025)年4月7日(月)から4月11日(金)までに、
公益社団法人東京都看護協会 選挙管理委員会 事務局まで届け出てください。
所定の様式が必要な場合は、右記までご連絡くださいますようお願いいたします。

公益社団法人
東京都看護協会
選挙管理委員会事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿
四丁目2番19号
TEL:03-6300-5139

改選役職名及び改選数

役職名	改選数
副会長(保)	1
副会長(看)	1
専務理事	1
職能理事(助)	1
職能理事(看)	1
地区理事(西部)	1
地区理事(南部)	1
地区理事(多摩北)	1

あなたのおきのお写真で会報表紙を飾りませんか?

次号「会報141号」(2025年9月 秋発行予定)に掲載します。

テーマ 「東京」

東京で撮影した風景写真など東京の魅力を感じ、再発見できるような写真

応募締切 2025年7月1日(火)

応募資格 東京都看護協会 会員

応募規定

- 1 応募者本人が東京都内においておおむね1年以内に撮影したもの
- 2 オリジナル作品。盗用不可
- 3 電子データ JPEG形式。縦位置写真推奨。合成不可
- 4 応募の際はファイルサイズ5MB以下データを送付
- 5 人物写真不可

その他詳細応募規定、応募先、応募方法につきましては
右記URLよりご確認の上、ご応募ください。
皆様のご応募お待ちしております。

<https://www.tna.or.jp/nurse/enrollment/newsletter/cover/>



採用の方には
図書カード
プレゼント!

写真タイトル

満開の春

撮影者

つかだ あき
塚田亜希 様

東京本土唯一の村「檜原村」の「人里」で撮影しました。都内の華やかな桜も素敵ですが、
田舎のバス停と1本の桜の木がととてもすばらしかったです。



＜檜原村人里地区バス停留所＞
東京都西多摩郡檜原村人里

会員サービス係からのお知らせ

2025年度
会員募集中!

会員数 41,219人

2025年2月10日現在

キャリアナース
ご利用
増えてます!

会員情報の確認・変更申請は、
かんたん・便利な『キャリアナース』(利用無料)からお願いします。
スマホ・PCで、いつでもどこでもすぐ申請♪
各種申請のほか、電子会員証、会費領収書ダウンロード、
文献検索など便利機能がたくさん!
「継続のご案内」ハガキの二次元コードからかんたんにご登録いただけます。



キャリアナース

新年度の会費納入は
お済みですか?



東京都かんごちゃん

口座振替の方は2/27に初回引落しを実施済です。クレジット払いで入会された方は、2年目以降、別の方法へ変更が必要です。

発行

公益社団法人
東京都看護協会

〒160-0023

東京都新宿区

西新宿4-2-19

<https://www.tna.or.jp/>

TEL.03-6300-0730(代)

発行人

柳橋礼子

編集協力

株式会社 物語社

令和7年(2025年)

3月14日発行